



天気予報はどうしてできるの

天気予報は毎日の気象観測から

新聞やテレビ、ラジオ、電話などで、毎日、天気予報が出されていますね。天気予報には、今日、今夜、あす、あさつてを予報する短期予報、むこう7日間を予報する週間予報、むこう1か月と3か月と6か月を予報する長期予報があります。

天気予報は、毎日、欠かさず行われている気象観測にもとづいて出されています。

いろいろな気象観測

気象観測は天気予報のきそになるもので、日夜、行われています。その内容は雲、雨量、風向、風速、気圧、気温、湿度などを観測しています。

こうした内容を観測するため、全国の気象台と観測所、また、日本全国にはりめぐらされている地域気象観測システム（アメダス）や、飛行機、船、ラジオゾンデ、パイロバット、気象衛星「ひまわり」などが、毎日、活躍しているのです。

観測した情報は気象台や気象庁に集められて、コンピュータなどを使って、毎日の天気の変化り方を予測するのです。（監修 村山貢司）

